

平成22年4月23日(金)
国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所
中日本高速道路株式会社
東京支社

記者発表資料

しゅとけんちゅうおうれんらくじどうしゃどう けんおうどう えびなジャンクション えびなインターチェンジ
**首都圏中央連絡自動車道（圏央道）海老名JCT～海老名IC間
開通後1ヵ月半の交通状況等をお知らせします。**

けんおうどう えびなジャンクション えびなインターチェンジ
圏央道の海老名JCTから海老名ICまでの間(延長1.9km)が、平成22年2月27日(土)15:00に開通しました。この度、開通後1ヶ月半の交通状況とアンケート結果を取りまとめましたので、お知らせします。

<交通状況>

- 圏央道 海老名JCT～海老名IC間の開通後1ヵ月半の平均交通量は、約10千台/日(平日約10千台/日、休日約11千台/日)でした。
- 海老名JCT～海老名IC間を利用する平均交通量の内訳は、東京方向からと名古屋方向からが同じでした(両方向とも約5千台/日)。
- 厚木ICの出入交通量は、開通前より約10千台/日減少していました。
- 海老名ICの整備により、相模川渡河部を含む周辺一般道路における交通流が変化しており、相模大橋における朝、夕の渋滞長が大幅に短くなっていることを確認しました。

<プロドライバーの声(アンケート結果)>

- 海老名ICが整備されたことにより、約3割の方が海老名IC利用に変更しています。
- 圏央道について、約7割の方が「早期整備」を求めています。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 都庁記者クラブ
神奈川県政記者クラブ 横浜市政記者会 横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
副所長(改築) 徳嵩 公明 調査課長 石倉 丈士

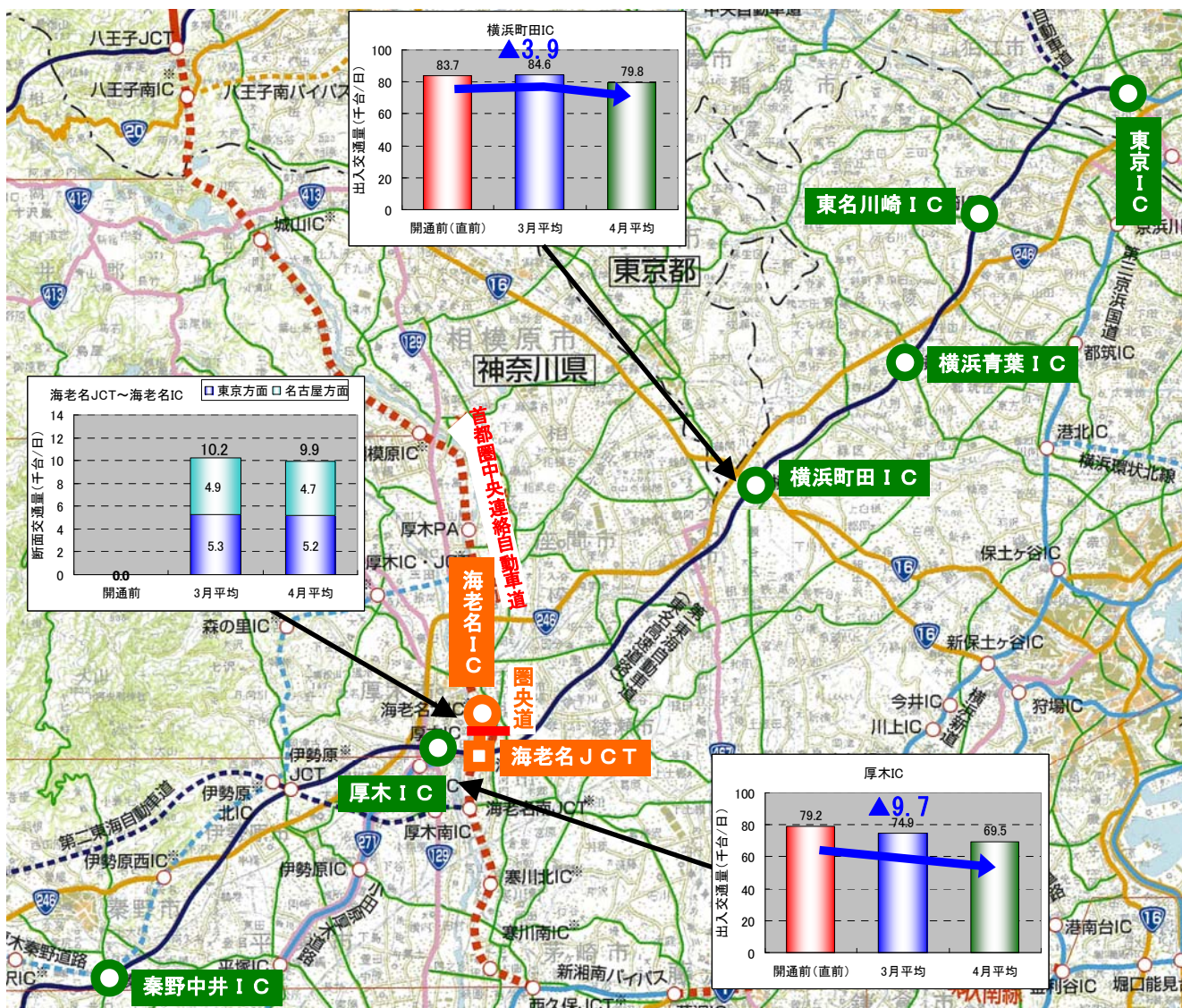
電話 045-311-2981 (代表)

NEXCO中日本 東京支社 広報・CSチーム (平日9:00~17:30)

電話 03-5776-5257 (直通)

1. 圏央道の交通量

- ・ 2月27日に開通した圏央道海老名JCT～海老名IC間の平均交通量は、3月が約10.2千台/日（平日約9.8千台/日、休日約11.2千台/日）、4月が約9.9千台/日（平日約9.8千台/日、休日約10.4千台/日）でした。
- ・ 海老名JCT～海老名IC間を利用する平均交通量の内訳は、3月の東京方面が約5.3千台/日、名古屋方面が約4.9千台/日、4月の東京方面が約5.2千台/日、名古屋方面が約4.7千台/日でした。
- ・ その一方で、隣接する厚木ICの出入交通量は約9.7千台/日、横浜町田ICの交通量は約3.9千台/日減少しています。

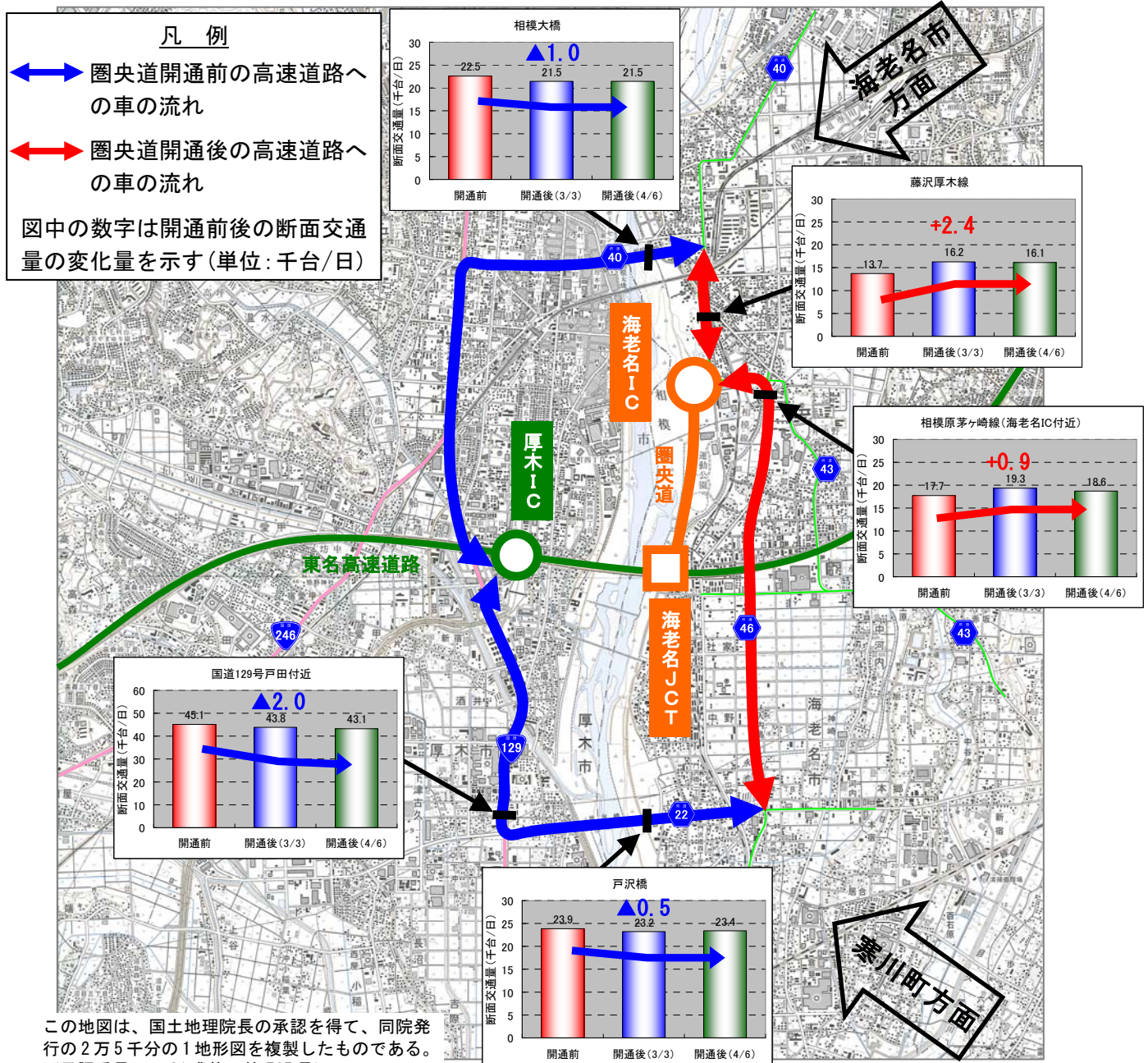


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。
 (承認番号 平21業複、第765号)

※交通量は交通量計測装置によるデータを速報値として記載。
 ※開通前は平成22年2月20日(土)～2月26日(金)の日交通量の平均値を記載。
 ※開通後の3月平均は平成22年3月1日(月)～3月31日(水)、4月平均は4月1日(木)～4月15日(木)の日交通量の平均値を記載。

2. 海老名 IC 及び厚木 IC 周辺一般道の交通量

- ・ 開通前（2月23日）と開通後（3月3日及び4月6日）に、市内の一般道において交通量調査を行いました。
- ・ 相模川渡河部の交通量を開通前後で比較すると、相模大橋で約1千台/日、戸沢橋で約5百台/日減少しました。
- ・ また、厚木 IC に向かう交通量を開通前後で比較すると、国道129号で約2千台/日減少しました。
- ・ 一方、海老名 IC に向かう交通量は藤沢厚木線で約2.4千台/日、相模原茅ヶ崎線で約9百台/日増加しました。
- ・ 海老名 IC 整備により周辺道路の車の流れに変化が生じ、相模川渡河部の交通量が減少、海老名 IC 周辺の交通量が増加している状況を確認しました。



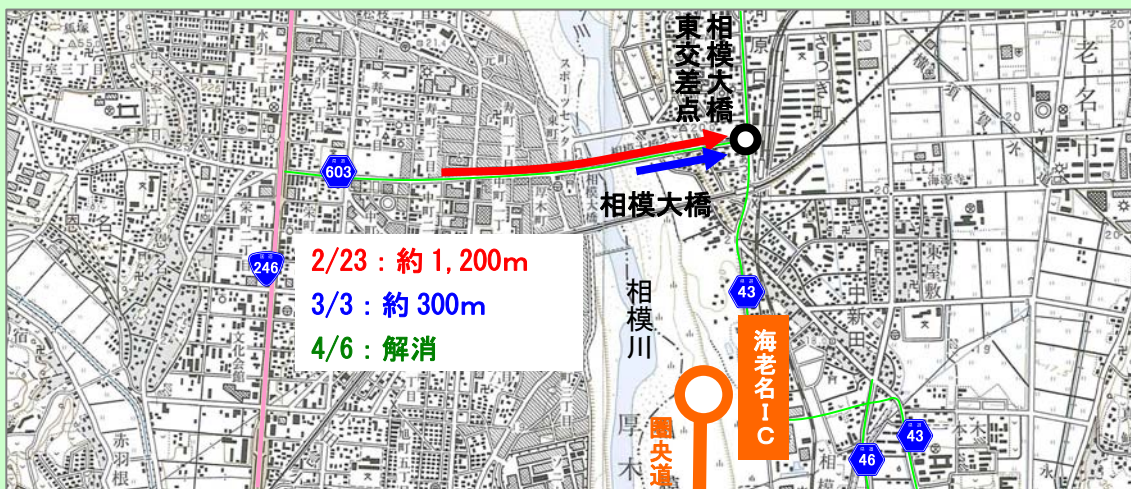
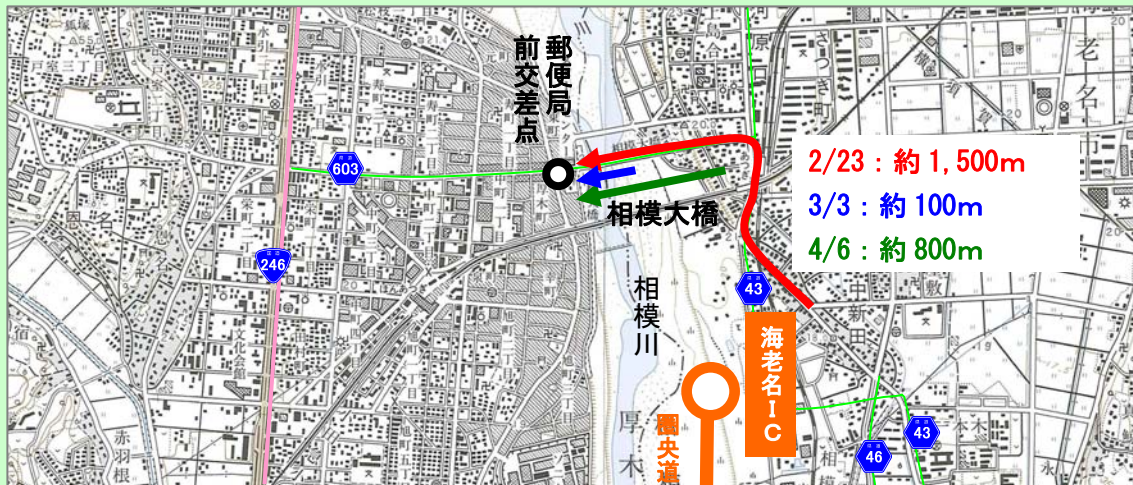
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平21業複、第765号)

※開通前は平成22年2月23日(火)、開通後は平成22年3月3日(水)と4月6日(火)の交通量調査結果を記載。

3. 開通区間周辺の一般道路の渋滞状況

- ・開通前（2月23日）と開通後（3月3日及び4月6日）に、相模大橋において渋滞長調査を行いました。
- ・相模大橋における厚木方面の朝の渋滞が、引き続き開通前より減少していることを確認しました。
- ・相模大橋における海老名方面の夕方の渋滞が、3月よりさらに解消していることを確認しました。

■相模大橋の渋滞状況



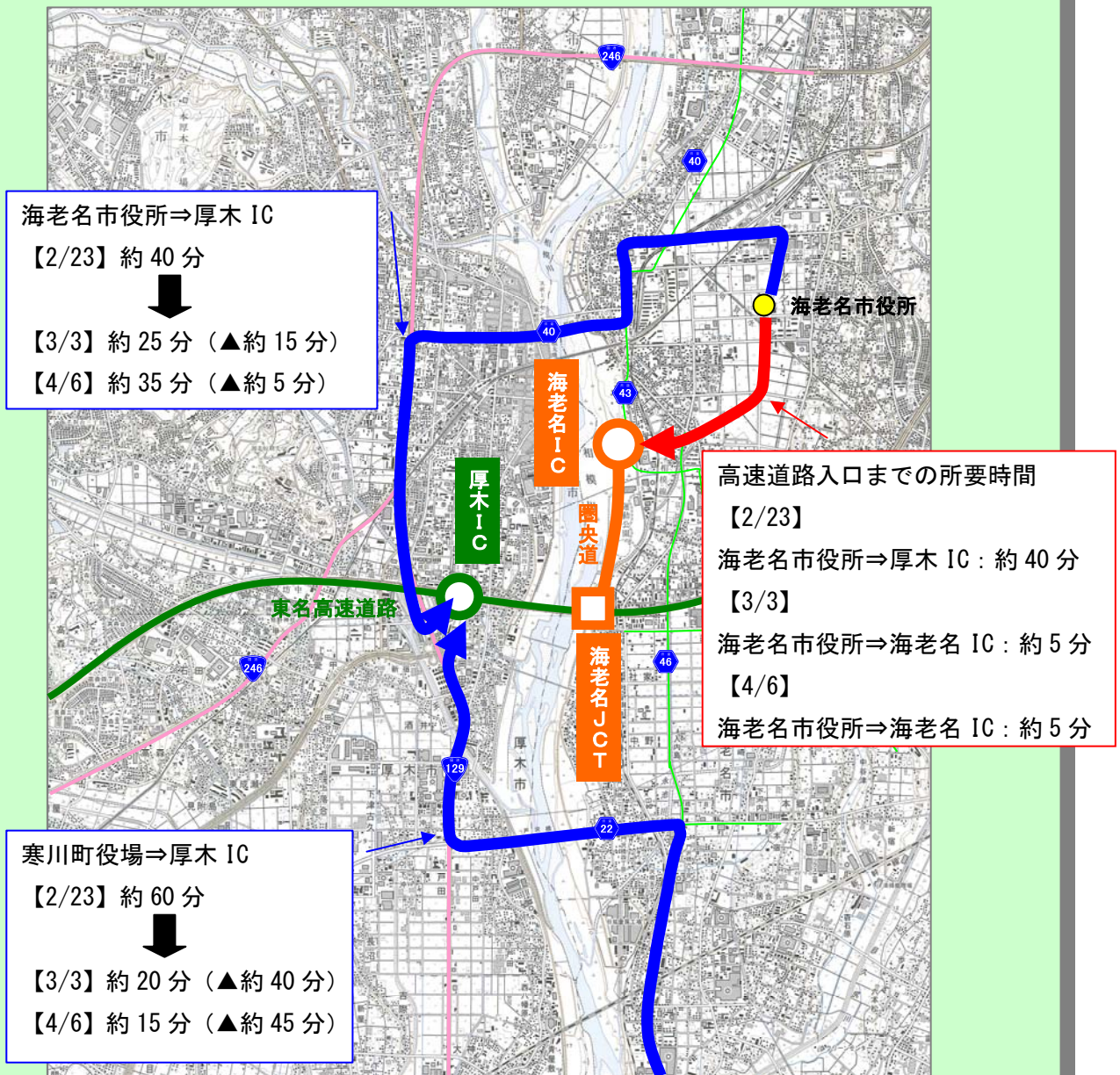
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号 平21業複、第765号)

※開通前は平成22年2月23日（火）、開通後は平成22年3月3日（水）と4月6日（火）の渋滞長調査結果を記載。

4. 高速道路入口までの所要時間の変化

- ・ 開通前（2月23日）と開通後（3月3日及び4月6日）に、旅行時間調査を行いました。
- ・ 海老名市役所から厚木 IC までの所要時間が、引き続き開通前より短いことを確認しました。
- ・ 寒川町役場から厚木 IC までの所要時間が、引き続き開通前より短いことを確認しました。
- ・ 海老名 IC が整備されたことにより、海老名市役所から高速道路入口（開通前：厚木 IC、開通後：海老名 IC）までの所要時間が大幅に短縮されました。

■海老名市役所及び寒川町役場から高速道路入口までの所要時間



※開通前は平成 22 年 2 月 23 日（火）、開通後は平成 22 年 3 月 3 日（水）と 4 月 6 日（火）の旅行時間調査結果を記載。

5. 厚木市内のプロドライバーの声（アンケート）

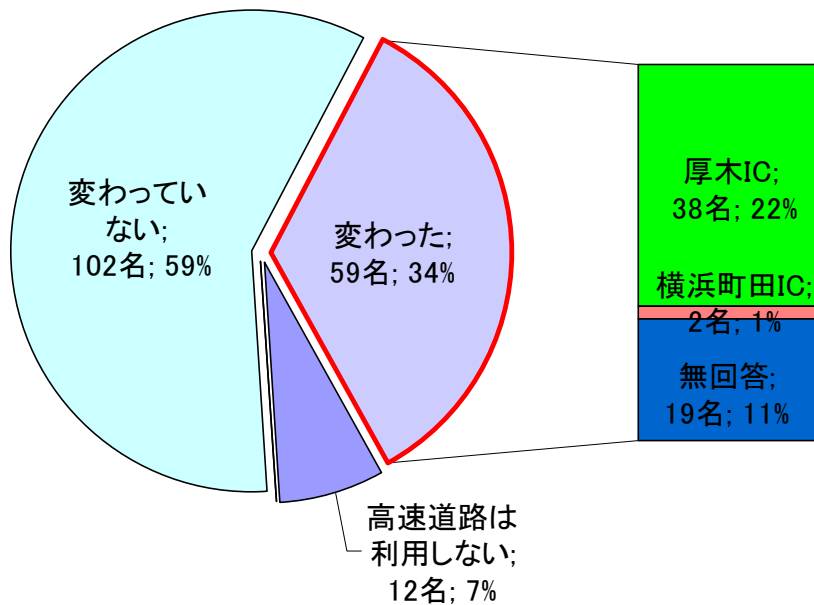
- ・圏央道の整備効果について、厚木市内のプロドライバーにアンケート調査を行いました。
- ・海老名ICが整備されたことにより、約3割の方が海老名IC利用に変更しています。
- ・圏央道について、約7割の方が「早期整備」を求めています。

対象者: タクシー会社(2社)、バス会社(1社)、運送会社(1社)

回答数: 173人

期 間: 3月18日～3月25日

問1 海老名IC整備による利用ICの変更について



問2 圏央道への要望について

